

令和3年 9月

■一般文学

「海苔と卵と朝めし 食いしん坊エッセイ傑作選」

・著:向田 邦子

・出版社:河出書房新社

あなたは、人生最後の日に何が食べたいですか？

「食いしん坊エッセイ」その名の通り、筆者の幼少時代から現在に至るまでのさまざまな食にまつわるエピソードが語られます。おもしろおかしく、甘くてちょっぴりほろ苦いけど、おいしくいただける本です。

昭和初期の時代背景を元に、当時の文化や人々の暮らしぶりが、筆者の鋭い感性と表現力で鮮明に描き出され、加えて人情味あふれる人柄がにじみ出ている文面に心が温かくなります。

「食いしん坊」イコール「美食家」イコール「料理研究家」ですが、ある意味、食育にも相当する本ではないでしょうか？よい食は、心も体も健康にします。ぜひこの本をご賞味ください。

(対象 一般)

■一般書

「緊急事態宣言の夜に ボクたちの新型コロナ戦記 2020」

・著:さだまさし

・出版社:幻冬舎

芸能界随一のシンガーソングライターであるさだまさしさんは、2020年3月、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、コンサート活動休止を余儀なくされますが、2020年9月1日、ウエスタ川越・大ホールでのツアー再開にこぎつけました。およそ6か月半の間の休業、ボランティア活動、そして今後への思い、展望などを綴ります。

2020年は様々な出来事がありました。「あの頃、マスクがネットで異常な高値で売られていたなあ」、「さださんも、志村けんさんと岡江久美子さんの訃報には打ちひしがれていたのだなあ」、「さすがにどこへも遠出出来なかったなあ」等々、さだまさしさんと一緒に「あの」2020年を振り返りましょう。

さださんらしい、そこまで堅苦しくなく、とても真面目な筆致です。「コロナでも、ただでは起きない!」オビの一文にさださんの全てが集約されているかもしれません。

(対象 一般)

■児童書

「ウソつきないきもの図鑑」

・著:来栖 美憂

・監修:實吉 達郎

・絵:まつむら あきひろ

・出版社:青春出版社

私たちが普段、目にする生き物のひみつを知っていますか？

例えば、強くて毒のある生き物は、とある何かになりすまして隠れていたり、見た目が岩などの自然物に似た体で獲物を待ち伏せしていたりしてエサを狙います。さらには、死んだふりしている生き物まで。生き物たちが生き残るための不思議な「擬態」の姿に驚き、おもしろさに引き込まれます。

今日から、生き物たちの見方が変わるかもしれません。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「ねこはまいにちいそがしい」

・作・絵:ジョー・ウィリアムソン

・訳:いちだ いづみ

・出版社:徳間書店

ねこってのんびりしているイメージがあるけど、実際はいそがしく活動しているとか。

ねこは朝から家族のためにせわしくなく動きます。目が覚めてから家族みんなにしていることは何でしょう。自由で気ままな活動は、感謝されたり、されなかったり。ユーモアたっぷりの活動の締めくくりに口元がほころんできます。

毎日のいそがしさは、家族のために、ねこのために。ねこが大好きな家族におすすめの1冊です。

(対象 幼児から)